

平成28年1月20日  
豊岡市商工会

## 豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(平成27年10月～12月期実績、平成28年1月～3月期見通し)

《1》 調査時点 平成27年12月4日

《2》 調査対象

調査依頼先  
150企業

有効回答数  
110企業 (回答率73%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答									
製造業	24	2	2	2	2	9	8	8	6	4	4	22
建設業	27	2	2	3	2	13	10	5	5	3	3	22
小売業	35	10	8	3	3	12	6	9	6	2	1	24
飲食業	20	6	5	2	2	5	4	6	5	1	0	16
宿泊業	23	8	4	6	4	8	4	/	/	/	/	12
サービス業	21	2	2	1	0	12	7	3	2	3	3	14
合計	150	30	23	17	13	59	39	31	24	13	11	110

《3》 調査項目

- ①売上高      ②仕入単価      ③採算性      ④資金繰り      ⑤景況感  
⑥従業員の人数      ⑦直面している経営上の問題      ⑧今後の取組み

【平成27年10～12月期実績】

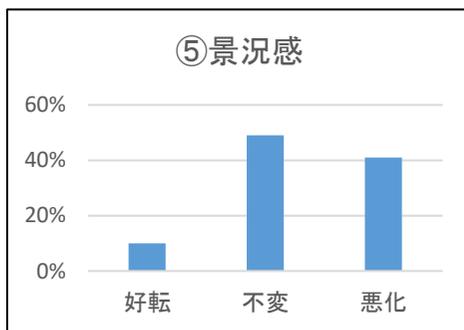
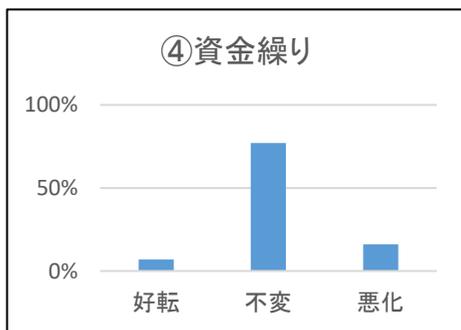
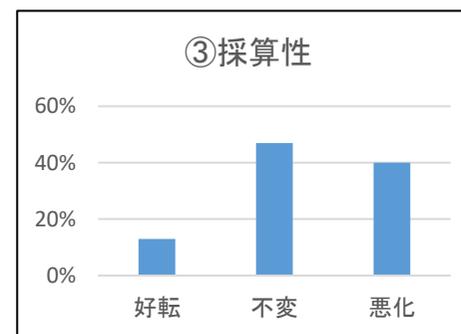
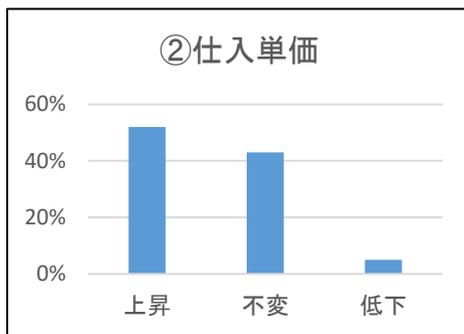
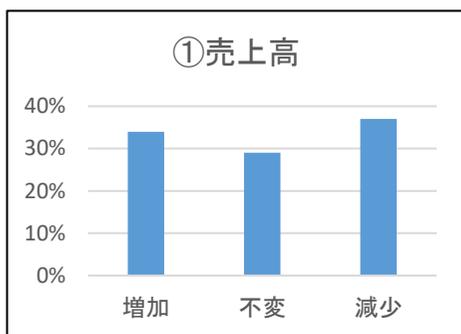
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲14→) ▲15 (前期差1ポイント減) となりマイナス幅が拡大した。 業種別売上高DIは、製造業、建設業、小売業、サービス業が上昇し、飲食業、宿泊業が低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期53→) 53となり横ばい。 業種別仕入単価DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業が上昇し、建設業、サービス業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲25→) ▲26 (前期差1ポイント減) となりマイナス幅が拡大した。 業種別採算性DIは、建設業、小売業、飲食業、サービス業が上昇し、製造業、宿泊業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲17→) ▲12となり (前期差5ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。 業種別資金繰りDIは、製造業、建設業、飲食業、サービス業が上昇し、宿泊業が横ばいで、小売業が低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲18→) ▲21 (前期差3ポイント減) となりマイナス幅が拡大した。 業種別の景況感DIは、製造業、建設業、サービス業が上昇し、小売業、飲食業、宿泊業が低下した。

【平成28年1～3月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲27となり12ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別売上高DIは、建設業が上昇し、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、52となり1ポイントプラス幅が縮小する見通し。 業種別仕入単価DIは、建設業、小売業、サービス業が上昇し、製造業、飲食業、宿泊業が低下する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲31となり5ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別採算性DIは、製造業が上昇し、宿泊業が横ばいで、建設業、小売業、飲食業、サービス業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲14となり2ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別資金繰りDIは、製造業、小売業、飲食業が上昇し、建設業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲31となり10ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別の景況感DIは、飲食業が横ばいで製造業、建設業、小売業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（平成26年10月～12月）と比べた今期（平成27年10月～12月）の状況



【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲3	▲10	▲19	▲13	31	17	▲7
仕入単価	47	31	43	50	75	83	14
採算性	▲27	▲50	▲18	▲24	▲12	▲25	▲29
資金繰り	▲9	▲16	▲14	▲13	▲12	10	0
景況感	▲31	▲31	▲40	▲22	▲24	▲9	▲54

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合

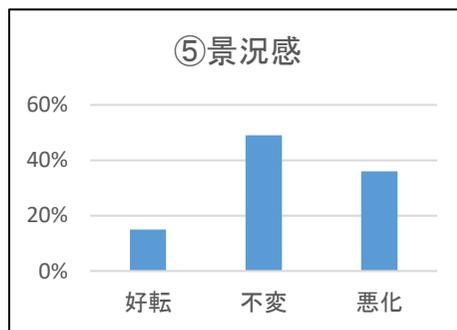
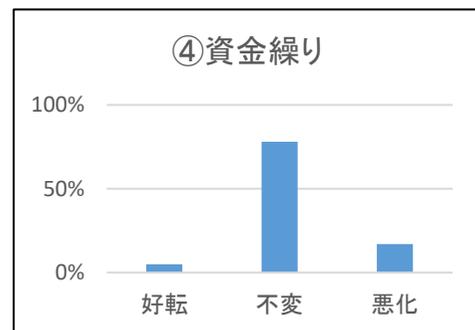
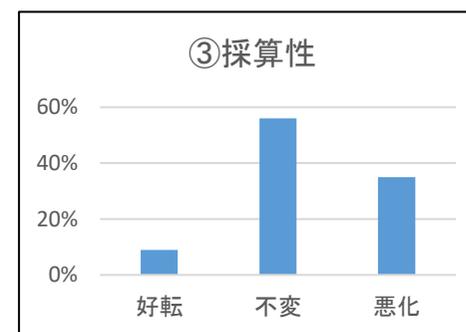
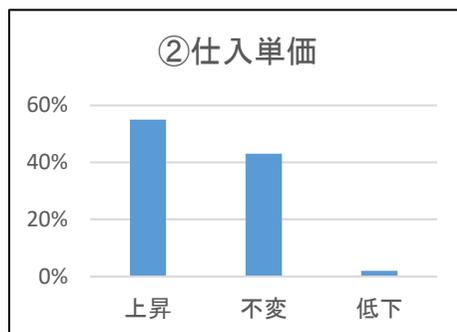
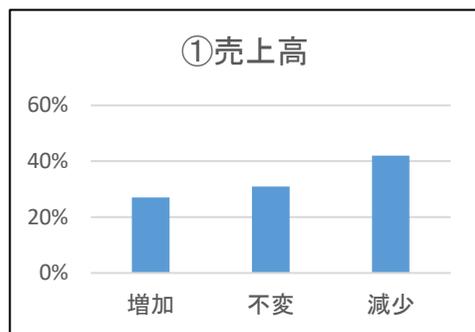
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合

採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比  
前期（平成27年7月～9月）と比べた今期（平成27年10月～12月）の状況



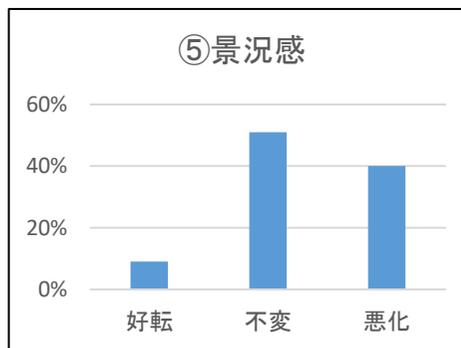
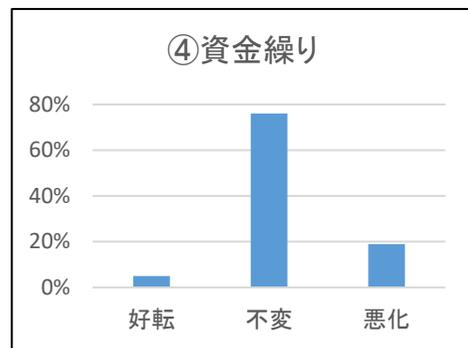
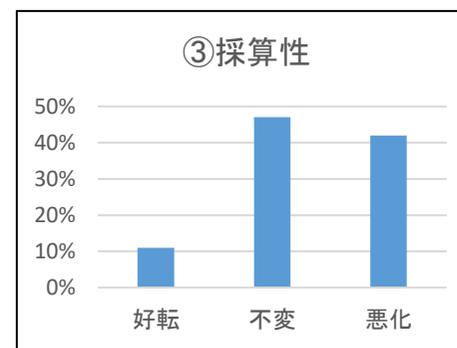
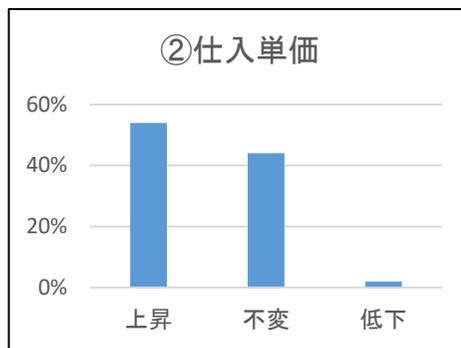
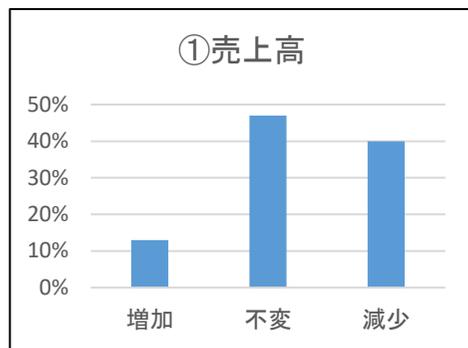
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲15	▲28	▲38	9	▲6	▲9	▲15
仕入単価	53	37	50	52	75	83	31
採算性	▲26	▲44	▲29	▲9	▲13	▲42	▲22
資金繰り	▲12	▲13	▲16	▲13	▲13	▲17	0
景況感	▲21	▲20	▲22	▲25	▲24	▲8	▲22

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（平成27年10月～12月）と比べた来期（平成28年1月～3月）の見通し



【全業種・業種別D I】

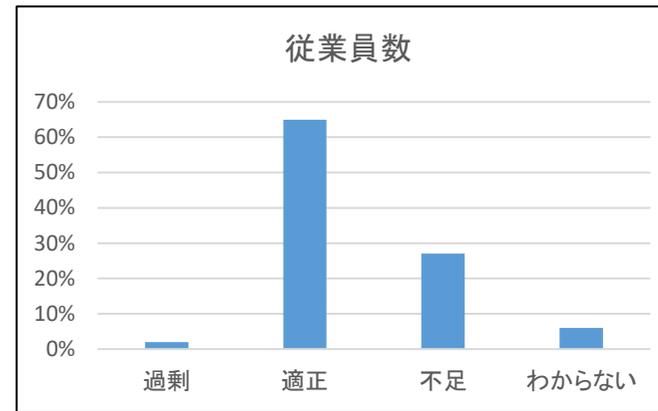
	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲27	▲30	▲33	▲24	▲25	▲17	▲29
仕入単価	52	28	55	61	57	75	43
採算性	▲31	▲39	▲32	▲20	▲27	▲42	▲30
資金繰り	▲14	▲4	▲27	▲9	▲7	▲33	▲15
景況感	▲31	▲27	▲52	▲30	▲24	▲9	▲36

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について

【全業種】

従業員の人数	件数	比率 (%)
過剰	2	2
適正	72	65
不足	30	27
わからない	6	6
合計	110	100



【業種別】

従業員の人数 (件数)	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
過剰	0	0	1	1	0	0
適正	18	16	15	13	3	7
不足	3	5	6	2	8	6
わからない	1	1	2	0	1	1
合計	22	22	24	16	12	14

【5】直面している経営上の問題点について

【全業種】

直面している経営上の問題点	件数	比率 (%)
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	14	13
消費者（製品）ニーズ変化への対応	29	27
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	39	36
必要な人材の雇用確保	23	21
事業資金の借入難	3	3
合計	108	100

【業種別】

直面している経営上の問題点（件数）	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	3	1	6	2	0	2
消費者（製品）ニーズ変化への対応	3	7	8	2	4	5
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	8	7	7	11	4	2
必要な人材の雇用確保	6	4	3	1	4	5
事業資金の借入難	1	2	0	0	0	0
合計	21	21	24	16	12	14

【6】 今後、取り組んでいきたいこと

【全業種】

今後、取り組んでいきたいこと	件数	比率 (%)
就業規則・労務管理体制の見直し	2	2
業務の効率化・仕事のみえる化	28	26
販路開拓（新市場開拓・海外展開等）	43	39
消費税増税対策・会計管理の見直し	16	15
人材育成・社員教育	20	18
合計	109	100

【業種別】

今後、取り組んでいきたいこと（件数）	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
就業規則・労務管理体制の見直し	0	0	0	0	0	2
業務の効率化・仕事のみえる化	4	8	5	5	2	4
販路開拓（新市場開拓・海外展開等）	11	7	10	5	5	5
消費税増税対策・会計管理の見直し	1	2	3	4	3	3
人材育成・社員教育	6	4	6	2	2	0
合計	22	21	24	16	12	14

【7】自由コメント

1	新しいチャレンジをしたいと思いますし、経常費の削減も行うつもりです。商工会においては、様々な補助金の情報提供や、申請の補助、成功事例の紹介などもお願いしたいと思います。（製造業）
2	人手不足が深刻な問題です。（宿泊業）
3	昨年に比べ観光客は増えている。また、外国人観光客も同様に増えているが、宿泊、飲食にはお金を使うが、お土産や物品にはあまり使わない。そういう意味で景況感是不変です。（小売業）
4	当該地域商業、観光ともに高齢化のため意識改革の必要を感じます。また、合併後、各組織が分離し協調性が欠落しているように思えます。行政の力も活用し調査研究、年次計画をたてる必要があるのでは？（建設業）
5	今季はかきの値段が上がり困っています。原価率が高すぎて売上高は良くても利益が薄く、この先消費税も上がると商売を続けられるか心配です。（宿泊業）